2020. 8.8～8.9 全国小学生バドミントン選手権大会茨城県予選 競技・審判上の注意

１．本大会は､現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則､大会運営規定並びに公認審判規定に準じて行う。

２．試合日程

	１日目（８月８日）	２日目（８月９日）
男子	４年シングルス	４年ダブルス
	５年シングルス	６年ダブルス
	６年シングルス	
	５年ダブルス	
女子	４年ダブルス	４年シングルス
	５年ダブルス	５年シングルス
	６年ダブルス	６年シングルス

３．競技方法

（１）試合形式はトーナメント方式とする。

（２）21 点（最大 30 点） 3 ゲームマッチ

・インターバルは､すべてのゲーム中一方のサイドが 11 点になった時に 60 秒を超えないインターバルは認める。

・ゲーム間および第３ゲームで一方のサイドが 11 点になった場合は、エンド交替を行い、120 秒を超えないインターバルを認める。

（３）試合前練習は､初めての試合のみ１分以内とする。
シングルスは対戦相手とダブルスはパートナートと練習を行う。

（４）３位決定戦
すべてのクラスで３位決定戦を実施する

（５）競技中の着衣は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品の半袖、半ズボンを着用し、半袖の 背面には「チーム名と氏名」を記載したゼッケンを付ける。
※関東Ｔシャツ、茨城県Ｔシャツは認める

（６）試合球は、（財）日本バドミントン協会の検定合格球(第２種検定球)を使用する。

４．審判員

（１）審判員は､大会本部が割り当てたコートで主審･線審で行う。

（２）１コート4人体制：主審１人、線審2人（1名は得点係も兼ねる)、待機1人
※審判員の協力人数により１コート3人体制（主審1人、線審１人、待機1人）、負けた選手が線審もある。

（３）主審は選手の健康状態をウォッチし、必要であれば水分補給を促し、熱中症対策に努める。

（４）コート内でのアクシデントが発生した場合は、速やかに本部役員を呼び、その指示に従うこと。

４．進行

（１）試合は､通し番号による流れ込み方式で行う。

（２）試合番号をアナウンスするので、該当する試合番号の選出は、速やかに選手召集所に集合する。

５．その他

（１）監督･コーチの為にコート脇に､指導者席（１席）を設置。

（２）監督・コーチからプレーヤーへのアドバイスは､インプレー中以外に行い、試合進行や他のコートへの影響を考慮する。

（３）選手は、インターバル時以外の水分補給や汗ふきは、必ず主審に断ってから行う。